待望の鉄筋校舎

小学校建築構想なる

町立の向陽小学校は明治五年十一月十六日現在の南山に創立されて、当時勝山校と呼び教師一人によつて寺小屋式の学校であつたが翌六年に習字、算術の二教師を得て、漸く学校らしい体裁を備えられ当時の生徒数もわずか一五二名（男子一二〇名・女子三二名）で物集女区に分教場が設置されていた。その後明治十一年九月第二区向日町校と改称され、翌年新築校舎が落成して第二向陽校と改められた。それから明治十八年に教室や裁縫室を増築、物集女分教場を廃し合併して、明治十九年向陽小学校と改称ついで明治四十二年義務教育年限が延長されたので、現在の南北の教室及び本館が落成し児童七〇〇名を収容することができるようになつた。その後大正八年に増築、昭和八年に二階建十二教室も増築、雨天体操場を拡張したが逐年児童数の激増によつて、いよいよ昭和二十五年に二階建南校舎を増築、昭和二十七年には二〇四坪の大講堂兼公会堂を新築し同年旧講堂を改築して普通教室に改め、給食調理室、その他便所などの増改築がつぎつぎとされ今日に至つているが、本校北校舎から西校舎、南校舎と矩形に建てられた建物は明治四十二年に建設された老朽校舎でありながら、この建築設計は現代学校建築の上からもつとも適格と認められるモデル校舎であつて、府下でも有数の完備した学校となつて現在に至つたのである。ところで本町が京阪間にあつて日々住宅化しつつあるところから、学校児童の数はうなぎ上りに増加の一途をたどり、三十三年度入学児童の増加によつて児童数は一、五七〇余名となり、現在の教室では数教室の不足を生ずることとなるので、明年度から町教育委員会ではこれが計画について度々協議され、昭和三十三年度愈々建築することに決定し計画設計に取りかかつたが、現代学校建築の近代化が叫ばれるところより従来の老朽校舎を取りのぞき、鉄筋コンクリート三階建て校舎に建て替える構想のもとに着々計画が進められ、完成のあかつきは白亜の立派な教育の殿堂として西山にそびえ立つことでしよう。

農地や小作地などの 転用や移動は

近ごろこの辺の土地は日に日に住宅化して行くが、その殆んどが田や畑で自作農創設特別措置法や農地調整法という法律によつて、農地とされており、これら農地や小作地などはその使用目的以外のものに使用することや小作地を他人に移動したりすることなどは総て地元農業委員会を通じて知事の許可があつてからでないと認められないことになつておりますので、まずこの手続きをすませてから住宅を建てる建築計画や設計にとりかかられるよう、又小作地を勝手に他人に作らせたりすることも同じ手続きを終えてからでないと出来ないことになつております。

「即ち農地の転用は」

農地を農地以外のものに（住宅など建てるため）転用する場合は必ず町の農業委員会を通じて所定の届出をして知事の許可を得なければならない。

「又小作地の移動などは」

小作地の契約を当事者間で合意の上であつても勝手に解除することはできず知事の許可が必要です。必ず農業委員会に届出て知事の許可を得てからにして下さい。

このような手続きは各部落内に農業委員の方がおられますから御相談くださるか町の農業委員会にお問い合せ下さい。

楽しい新入学 四月八日から一年生

新入学児童の保護者の方々へ

今年の四月に入学されるお子様をおもちの保護者の方々にお願いとともにお知らせします。

日々いつくしみ育てられましたお子様はのびのびと成長され、いよいよ四月には晴の小学校に入学されることになり、心からお喜び申し上げます。入学されるお子様は昭和二十六年四月二日から昭和二十七年四月一日までにお生れの方で、すでに昨年十二月一日現在で調査表を提出していただいたのでありますが、その後向日町に転入してこられました御家では早く町役場で住民登録をすませ、お子様の入学手続きを当町教育委員会でとつてください。

また新入学される児童の方で肢体不自由とか病弱、その他発育不良などで学校に就学が困難な方は医師の診断書を添えて就学猶予または免除の届けを教育委員会まで提出されますと府教育委員会に申達して承認を得ることになつております。

向陽小学校の入学式は四月八日です、受付は午前九時から式は午前十時から始まります。

火の元は心で防げ　目で防げ
捨てるマッチに　捨てるな注意
納税でこの道その橋　あの学校
一に納税　二に権利

西ノ丘林道開発計画なる

延長一、九三四米巾は四米に

町内西ノ丘をヘナソゲ峠から物集女府道伏見亀岡線に通ずる林道は、この町の特産物である竹材、筍の搬出になくてはならない道路となつているが、この道路は昔ながらの林道で崖崩れや急坂のため竹材や筍の運搬や竹林肥培管理上、少なからず不利不便を感じており、郷土産業発展を望む農家から三年前より拡張開発が要望されていたもので、この西ノ丘一帯は、この町の背になる竹林地帯で特産物の筍栽培と竹材の生産が多く、この地質の如何は農家経済に大きな影響をもつもので、この峠線道路拡張によつて、その生産力もより増大するものと期待しているところで、いよいよ道路開発事業を施行することとなつて着々その準備が進められている。

この道路は物集女より西ノ丘頂上を南下して寺戸の大原野街道ヘナソゲ峠に通ずるもので、道路開発完成のあかつきには農家経済の潤沢と労力推進にもつとも期待がかけられ各農家の協力がのぞまれている。

豆知識

大蔵省は十日、年間の通関実績を発表した。これによると三十二年中の実績は輸出二十八億五千三百万ドル、輸入四十二億八千三百万ドル差引十四億三千ドルの輸入超過となり戦後最高の記録となつた。

学校から

向陽校の給食 週に五回実施

昭和二十九年六月に学校給食法が公布になりました。その法律の第二条に「学校給食の目標」として、次の四項目をあげて義務教育諸学校における教育の目的を実現するために、それらの目標の達成に努めなければならないと示してあります。

1 日常生活における食事について正しい理解と望ましい習慣を養うこと。
2 学校生活を豊かにし、明るい社交性を養うこと。
3 食生活の合理化、栄養の改善及び健康の増進を図ること。
4 食糧の生産、配分及び消費について正しい理解に導くこと。

本校でも、以上の目標に到達するために、給食開始以来十年間及ばずながら努力を続けて現在に至りました。その間、年々施設の面も拡充して頂きまして、仕事の能率と合理化を図り、給食内容の充実に留意してまいりました。而し児童の誰からも喜ばれ楽しまれる献立には、前途程遠い感で力不足に日夜悩んでいます。学校給食の目的達成には、今後の学校当局の研究工夫に加え、保護者の方々の格別の協力を得なければならないと思います。

現在本校で行つております給食の概要について申し上げますと、給食実施人員は児童教職員合せて一、五一六名で、調理従事者は四名であります。実施方法は

◇給食型◇A型、土曜を除き週五回

◇一回の量◇パン一三〇瓦、ミルク一合、バター八瓦又はジャム十五瓦と副食物

◇給食費◇一回平均価格十六円で大体一ケ月二十回内外月末に徴収していますが学級の実態により納入期は伸縮性を持たせています。

物資の購入、大部分京都府学校給食会で斡旋の物を使用し、一部は町内の商店から購入しています。

献立は、京都府教育委員会保健体育課立案のもの及び、京都府教育委員会立案のものを参考にして基準栄養量の確保につとめています。

毎日の給食の実態については、各家庭において子達から直接聞いて頂いていることと思いますが、この頃では殆んどが、ミルクも副食物も残さずに食べられるようになりました。而し一部にはまだ偏食者がありますので、その原因を除去して矯正することに留意しています。偏つた食事は偏つた性格を作るといわれています。子供の偏食を矯正するのに最も手近な方法は、家庭すなわち所謂自ら好き嫌いのないバランスのとれた食生活からふみ出さねばなりませんが学校では、みんなの食べる物という意識と、担任の適切な助言によつて除々に直すことが出来ると思います。

給食開始のベルと同時に、係の児童が手拭、マスク、エプロンという、かいがいしい姿で配食の準備に来ます。（その時必ず食器を忘れた者が相当数替りに来ます）

多人数の食事を扱うので、集団伝染病等の発生を恐れ、細心の注意を払つておりますが、この上に食器の消毒槽と洗滌機の設備があれば、不潔な給食袋やふきんの心配もなく、忘れ物の件も一挙に解決出来て、衛生的に万全を期することが出来ると思います。

清掃の行届いた教室で、楽しい給食の雰囲気を作り、完全に消毒の出来た食器を並べ、みんなと一諸に同じ物を好き嫌いをいわず喜んで食べる給食の時間を持つことが出来るよう、学校を挙げて努力しなければならないと思つています一日も早く食器洗滌機と消毒槽の出来ることを希望して給食の一端を皆様に御紹介致します。

写真ー上　調理室の内部
下　教室での給食状況

筍の厂史

郷土特産

乙訓郡の筍は広く全国的に知られた特産物であるが、その筍が特産物までになつた経緯は余り知られていない。伝え聞くところによると今よりちようど四百年余りまえ[illegible]王という人が鹿児島の島津公に、この筍を贈つたのが始りでそれがだんだん伝つたものといわれる、その後京都東方では宇治黄檗山の管長が宗教勉学のため唐にわたり、その地の孟宗竹の風格に魅せられ、これを持ち帰つて[illegible]したのが始りで、その後海印寺村の寂照院住職が黄檗山管長から、その苗をゆずりうけ寺の畑に植え付けたのが始りといわれている。これがこの郡の西北一帯の[illegible]、山麓に点在して栽培されるようになつてつぎつぎに孟宗竹の栽培が広がつたものと考えられているが、この孟宗竹の栽培が粘土質の土地条件に合つていたので、当時幾多の篤農家の手によつて四百年の長い間にわたつて改良に改良が加えられて、現在のように農村過剰労力と下肥を利用して京都式の筍栽培法が編み出され、京都市近郊農村の農家経営と経済になくてはならない存在となつている。

郡内孟宗竹の面積は約三三〇町歩にわたり、その年産量六五万貫にのぼり京阪神の市場は勿論遠く東京、四国方面まで販路を広めつつあつて筍の端境期農業の一翼をを占めている。

春の火災予防運動が実施されますので御協力をお願いします

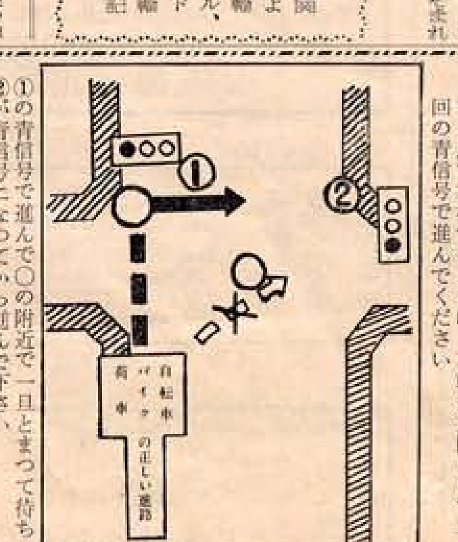
がいろ灯をだいじにしましよう

町で三十一年から街路灯をたて町の中を明るくしましたが、よく電球がこわれたり、つけたり消したりするスイッチが、だれかのいたづらでこわされ折角明るかつた街角もまつ暗になつております。これもみなさんのお金でたてたのですから、みんなでだいじにほごし明るい住みよい町に致しましよう。電球が切れたら区事務所の方にお知らせください。

自転車 バイク 荷車 の二段信号進行

（33年1月1日からかわりました）

自転車・バイクに乗られる皆さん
交さ点で右折するときは、左端を大回りして二回の青信号で進んでください



①の青信号で進んで○の附近で一旦とまつて待ち
②が青信号になつてから進んで下さい
×印はいままでの右回り方法でしたが、これからはできなくなりました

向日町警察署

道路交通防害はけがのもと

このごろ毎日のように交通事故のため人が死んだりけがをしたり、ころんだりしています。

道路の交通がひんぱんになつてその上道路上にいろいろのものを置いているところから道がせまくなり事故のもとになつています。

道路の両端側溝の中心より道路内に物件を永く放置するときは警察の許可が必要です。

おたがいに道路交通の防害にならないよう協力しましよう。